

メディアミックス部門優秀賞

大日本除虫菊株式会社 虫コナーズ TVCM「無防備」篇、ラジオCM：虫コナーズプレミアム「棒シリーズ」、デジタル等

TV



フジテレビ 30秒×1

TVCM「無防備」篇

長澤：あんた、その虫コナーズ、
まさか去年のとちゃうやろね。

仲野：え、なんで？

長澤：虫よけしてるつもりでも、
期限の切れた去年の虫コナーズでは、無防備やねん。

仲野：うん。

長澤：人間でいうたら…。

仲野：うん。

長澤：おでこにパスワード書いて歩いているようなもんで。

仲野：…そりゃ無防備やな。

NA：取り替えましたか？
金鳥虫コナーズ。



RADIO**「棒シリーズ 棒夫婦」篇**

(いっさいの感情を排除した棒読みの会話劇)

夫・妻：「棒夫婦」

M：♪ (抽象的な音楽)～

夫：ガチャ。ただいま。

虫コナーズを買いに行ったら、
蚊に効く虫コナーズプレミアムというのが出ていて
思わず買ってしまったよ。

妻：プレミアム？

あなたって、ちょっといいのが出たって聞くと、
買わずにはいられない人ね。夫：おかしいかな。そういう人、多いと思うぜ。
ぶら下げるだけで半径1メートル、蚊を寄せつけないんだ。
買ってしまっただろ？

妻：わたしには理解できないけど。

わたしはわたしで、
コロナコロナでずっと家にいたもんだから、
なんだかむしゃくしゃしちゃって、
ものすごく高いハンドバッグを買ってしまったのよ。

夫：え……。

妻：結局わたしたち、似た者夫婦ね。

夫：…ああ。キンチョウ虫コナーズプレミアム。

妻：使用上の注意をよく読んで正しくお使いください。

「棒シリーズ 隣の棒夫婦」篇

(いっさいの感情を排除した棒読みの会話劇)

隣の夫・隣の妻：「隣の棒夫婦」

M：♪ (抽象的な音楽)～

隣の夫：お隣のあれ、虫コナーズかな。
ちょっとちがって見えるんだけど。隣の妻：ああ、あれは蚊に効く虫コナーズ「プレミアム」といって
虫コナーズのちょっといいやつ、
ダンナさんが見つけて買って来たんだって。隣の夫：あのケチのダンナがプレミアム？
何がいいんだろうか。隣の妻：ぶら下げるだけで半径1メートル、蚊を寄せつけない
んだって。

隣の夫：それは聞き捨てならないな。

隣の妻：あなたはいつもそうやって人と比べてムキになる。
誰かと比べないことが幸せのコツらしいわよ。隣の夫：いや、お隣の蚊がこっちにやってくるんじゃないかと
思ってる。隣の妻：他人の幸せが、こちらの不幸に繋がるのは許せないわね。
いますぐ買ってきてキンチョウ虫コナーズプレミアム。

隣の夫：使用上の注意をよく読んで正しくお使いください。

隣の妻：わたしはハンドバッグを買ってきます。

隣の夫：え……。

「棒シリーズ 棒親子」篇

(いっさいの感情を排除した棒読みの会話劇)

妻・娘：「棒親子」

M：♪ (抽象的な音楽)～

妻：お父さんのお葬式なんだけど、
できるだけ簡素なものがいいかなと思って。
あの人、ケチだったから。

娘：え、お父さん、そんなにケチだったかな。

妻：ケチよ。ケチが服を着て歩いてたような人よ。

娘：でも、ほら、ちょっといい虫コナーズが出たって、
早速買ってきたの覚えてる。妻：ああ。キンチョウの蚊に効く虫コナーズプレミアムね。
「ぶら下げるだけで半径1メートル、蚊を寄せつけないんだ。」
とかなんとか言ってる。娘：ちゃんと付加価値のあるものには
お金を払うタイプのケチだったんじゃない？

夫：ガラガラ。誰がケチだ。しかもわたしはまだ生きている。

妻：あらやだケチ男さんが起きてきた。

夫：こらこら。キンチョウ虫コナーズプレミアム。

娘：使用上の注意をよく読んで正しくお使いください。

「棒シリーズ 棒店員」篇

(いっさいの感情を排除した棒読みの会話劇)

店員女・隣の夫：「棒店員」

M：♪ (抽象的な音楽)～

店員女：いらっしゃいませ。いらっしゃいませ。

隣の夫：キンチョウ虫コナーズの「プレミアム」というのは置いて
ますか。ぶら下げるだけで半径1メートル、
蚊を寄せつけないって宣伝しているやつなだけだ。

店員女：ああ、棚になかったらいいですね。

隣の夫：棚に…なかったら、ない。

店員女：はい、なかったら、ないです。

隣の夫：ないのは仕方ないけれど、その対応には前からひとこと
言いたかった。なかったら、ない。これ以上の関係を断絶する言葉だ。
無理だったら無理。行けたら行くわ。みたいな。そんな風に、人との関わりを身勝手に一方通行にして
あなたはどうやって人とわかり合うんだい？

店員女：わかる人には、わかります。

隣の夫：そうですか。キンチョウ蚊に効く虫コナーズプレミアム。

店員女：使用上の注意をよく読んで正しくお使いください。

隣の夫：ないのに？

RADIO

「棒シリーズ 棒隣人」篇

(いっさいの感情を排除した棒読みの会話劇)

夫・隣の夫:「棒隣人」

M: ♪ (抽象的な音楽) ~

夫: ガサガサ。これどうぞ。

いやなに、妻から聞いたんです。

お隣さんが蚊に効く虫コナーズプレミアムを探しているって。

隣の夫: ほおこれがプレミアム。

ぶら下げるだけで半径1メートル、蚊を寄せつけないという。

夫: キャンプとかにもいいですよ。だから…

そこの棚にある高そうなワインと交換してくれませんか。

隣の夫: それはできないよ。妻と記念日に飲もうと思って

大事にとってあるやつだから。

夫: じゃあわたしの年収教えるから交換してくださいよ。

隣の夫: わたしは人の年収には興味がないタイプです。

夫: へえ。そういう人もいるんだ。変わってますね。

隣の夫: もう帰ってくれませんか。

夫: 帰るよ。返せよキンチョウ虫コナーズプレミアム。

隣の夫: 返すよ。使用上の注意をよく読んで正しくお使いください。

「棒シリーズ 二組の棒夫婦」篇

(いっさいの感情を排除した棒読みの会話劇)

みな: 「二組の棒夫婦」

M: ♪ (抽象的な音楽) ~

夫: そんなこんなで男たちは

それぞれに蚊に効く虫コナーズプレミアムを買い

夫・隣の夫: それぞれの家にぶら下げた。

隣の夫: そして家に蚊が侵入するのを防いだ。

妻: わたしたちは、コロナに打ち勝つべく

妻・隣の妻: とても高いハンドバッグを買った。

夫: ちょっといい虫コナーズ。

隣の夫: ちょっといいものは、

夫・隣の夫: うれしいものだ。

妻: とても高いハンドバッグは、

隣の妻: とても

妻・隣の妻: うれしい。

夫: ちょっといい夏になるといいですね。

隣の夫: そうですね。うちはおたくよりもう少しだけ、いい夏に

したいです。

隣の妻: あらあら、誰かと比べないことが幸せのコツですよ。

妻: さすが奥さん、いいこと言うわ。

わたしのハンドバッグの方がちょっと高いけど。

みな: あはははは あはははは

隣の夫・隣の妻: ちょっといい夏

夫・妻: キンチョウ虫コナーズプレミアム。

隣の妻: 使用上の注意をよく読んで正しくお使いください。

ニッポン放送・文化放送 60秒×6

デジタルメディア

蚊に効く虫コナーズプレミアム「聞いてへんで」篇、「いい夏」篇

The screenshot shows the Kincho website interface. At the top, there are navigation links for 'HOME', 'ENGLISH', '会社案内', 'お問い合わせ', and 'お問い合わせ'. Below the navigation is the Kincho logo and a search bar. The main content area features a large banner with the product name '蚊に効く虫コナーズプレミアム' and two video thumbnails: '聞いてへんで' and 'いい夏'. Below the banner is a section titled '企画意図' (Concept) which explains the product's effectiveness and safety. This is followed by an 'エピソード' (Episode) section with a testimonial from a customer. The '出演者' (Cast) section lists the actors. The 'ストーリー' (Story) section includes a video player for the '聞いてへんで' video. At the bottom, there is a '関連商品' (Related Products) section showing other Kincho products.

https://www.kincho.co.jp/cm/html/ka_mk_kitchen/index.html?movnum=1

使用媒体 ● フジテレビ

広告会社＝株式会社電通・株式会社ワトソン・クリック／制作会社＝株式会社電通クリエイティブX／クリエイティブ・ディレクター＝中治信博(株式会社ワトソン・クリック)／企画 プランナー＝中治信博(株式会社ワトソン・クリック)・古川雅之・直川隆久(株式会社電通(Creative KANSAI))／制作会社プロデューサー＝五十嵐一敏・市橋弘子(株式会社電通クリエイティブX)／監督＝大森立嗣(フリーランス)／撮影＝横憲治(フリーランス)／プロダクションマネージャー＝坂本祐紀子・柳沢諒(株式会社電通クリエイティブX)／照明＝水野研一(フリーランス)／美術＆フォント作成＝堀明元紀(株式会社スーヴェルヴァーグ)／ヘアメイク＝スズキミナコ・高橋将氣(フリーランス)／スタイリスト＝藤井牧子(オムライス)・石井大(フリーランス)／キャストिंग＝津田優子(株式会社電通キャストिंगアンドエンタテインメント)／オフラインポストプロダクション＝石橋秀幸(株式会社デジタルエッグ)／オフラインエディター＝早野亮(フリーランス)／オンラインポストプロダクション＝石橋秀幸(株式会社デジタルエッグ)／オンラインエディター＝米田知世(株式会社デジタルエッグ)／カラリスト＝北山夢人(株式会社MAGICA Lab.)／サウンド(ミキサー／SE等)＝島津未来介(フリーランス)／ロケコーディネーター＝櫻井慧(株式会社HIGH TIDE)／出演者＝長澤まさみ(東宝芸能株式会社)・仲野太賀(株式会社スターダストプロモーション)／広告会社 営業担当＝新宅慶之・寺門康徳・辻田基明・藤島雄輔(株式会社電通)

使用媒体 ● ニッポン放送・文化放送

広告会社＝株式会社電通／制作会社＝株式会社ヒッツコーポレーション／クリエイティブ・ディレクター&企画 プランナー&コピー＝古川雅之(株式会社電通(Creative KANSAI))／制作会社プロデューサー＝谷道忠(株式会社ヒッツコーポレーション)／演出 ディレクター＝古川雅之(株式会社電通(Creative KANSAI))／音楽制作会社＝株式会社ヒッツコーポレーション／音楽制作会社プロデューサー＝谷道忠(株式会社ヒッツコーポレーション)／プロダクションマネージャー＝林貫志(株式会社ヒッツコーポレーション)／サウンド(ミキサー／SE等)＝前田剛(株式会社ヒッツコーポレーション)／ナレーター＝三坂賢二郎・内山絢貴(有限会社ライターズ・カンパニー)・りん(UUUM株式会社)・安富史郎(有限会社ワイワイワイ)・春木真里奈(フリーランス)・アッテンベルジェ北田あやめ(株式会社エーライツ)／作曲＝渡邊崇(フリーランス)／広告会社 営業担当＝新宅慶之・山本哲徳・多嶋田雅司(株式会社電通)／使用楽曲＝曲名：「棒夫婦」「棒親子」「隣の棒夫婦」「棒店員」「棒隣人」「二組の棒夫婦」・作曲：渡邊崇

使用媒体 ● デジタルメディア

広告会社＝株式会社電通／制作会社＝株式会社電通クリエイティブX／クリエイティブ・ディレクター&企画 プランナー&コピー＝古川雅之・直川隆久(株式会社電通(Creative KANSAI))／制作会社プロデューサー＝五十嵐一敏・市橋弘子(株式会社電通クリエイティブX)／演出 ディレクター＝大森立嗣(フリーランス)／撮影＝横憲治(フリーランス)／プロダクションマネージャー＝小林繁昭・牧村薫(株式会社電通クリエイティブX)／照明＝渡邊孝一(フリーランス)／美術＝堀明元紀(フリーランス)／コーディネーター＝櫻井慧(株式会社HIGH TIDE)／ポストプロダクション＝株式会社MAGICA Lab.大阪プロダクションセンター／オンラインエディター＝山崎忠幸(株式会社MAGICA Lab.大阪プロダクションセンター)／オフラインエディター＝早野亮(フリーランス)／サウンド(ミキサー／SE等)＝吉田憲義(シネマサウンドワークス株式会社)／キャスト＝長澤まさみ(東宝芸能株式会社)・シソンヌ じろう(吉本興業株式会社)／スタイリスト＝藤井牧子・額綱春樹(フリーランス)／ヘアメイク＝スズキミナコ・根本茉波(フリーランス)／キャストिंग＝津田優子(株式会社電通キャストिंगアンドエンタテインメント)／広告会社 営業担当＝新宅慶之・藤島雄輔・多嶋田雅司(株式会社電通)